

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	里山文化研究会7月例会 手作りハガキ（紙漉き）と草木染実験		
開催日時	2022年7月2日（土）13時30分～17時		
開催場所	佐倉市 ミレニアムセンター	一般参加者	8名

活動概要

3年振りにFIC会員限定の例会を実施。講師より紙の歴史や原料・製造法・樹種による紙の用途の違いなどスライドで解説後、一部のパルプ繊維をタマネギ染液で草木染。その後紙漉き



に入った。一枚目は針葉樹のパルプでハガキ大の紙漉き作業。500ccの水にパルプ30gを投入。米粉(上澄み液)とオクラ液を加えて攪拌し、木枠に流し込む。模様としてイロハモミジの葉を漉き込む。吸水シートに挟んで水分

を取り、ろ紙に挟んでさらに水分を抜く。次に新聞紙と板に挟んで足で踏み、最後はアイロンで乾燥させ、5gのハガキにして完成。紙作りは水との戦いを実感。

二枚目は広葉樹のパルプで同様に紙を漉く。こちらにはタマネギ染したパルプを混ぜてどうなるか実験。結果はやや黄色っぽい紙が出来た。ルーペで見ると染めた繊維と白い繊維が混ざっているのが判る。

最後に広葉樹と針葉樹で作った別々のちぎり見本を、破ったり指先で感触を確認して、それぞれの樹種の特徴を確認した。



パルプ・オクラ液・米粉液を水に入れ攪拌



モミジ葉を漉き込む。



タマネギ液に広葉樹パルプを入れ、煮る。



板に挟んでしっかりと水分を絞り出す。



木枠から實の子をそっとはずす。ここが最大の難所。



タマネギ染したパルプ



完成品 左が針葉樹に葉の漉き込み。右が広葉樹パルプにタマネギ染パルプを混合

F I C 講師：板倉完次